

▲これから自由に意見を申し合います

6月14日・15日、箱根で130人、推薦議員17人が開いた集会には、組合員約100人参加し、少人数による参加型のグループ討議に初めて

# 我われが自ら発信し 清掃事業の未来を創り出そう

第40回組織 / 第52回自治研集会 6月14日・15日 『箱根路 開雲』



東京労働組合  
千代田区飯田橋3-9-3  
TEL (3237) 9995  
1部20円

責任部長 三野 優  
責任部長 野 優  
責任部長 野 優

わが組合の綱領  
一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。  
二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都政の徹底的民主化を期す。  
三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

型のグループ討議に初めて取り組みました。議員の皆さんといっしょに区民ニーズを探り、その解決策を考えるこのグループ討議は、自由に意見を出し合いながら、笑いの絶えない和やかな雰囲気で行われました。最終日には、なるほどと思える様々なプランが12のグループから発表され、今後の予算・人員闘争や組織作りには、どのような清掃事業を創り出すかを考えるヒントがたくさん詰まっています。

1日目の冒頭、吉田委員長は、国の経済財政諮問会議が、民間活力を活用し、低コストで頑張る自治体にする厚く地方交付税を交付する考えを検討している。自治体行政改革では、コストのみに見える化し、現業切り捨ては明白だ。我われは区民とともに自治体の公共サービスを問い、国に対して対抗していく。職場が危機に瀕している。新たな仲間を獲得し、公共サービスとしての清掃事業を確立しようと呼びかけました。

人にやさしい廃棄物行政が問われている  
染書記長は、我々は2000年の清掃区移管以降も、23区・清掃一組を貫く「単一組合組織」を選択し、公共サービスを担う労働者の組織として、行政のチェック機能を持つ社会的労働運動を目指したと強調しました。

日本は65歳以上の高齢者が総人口の25%を超える超高齢化社会を迎える。「人にやさしい、廃棄物行政のあり方が問われる。区政の第一線で働く我われと区民との「協働」により解決の

糸口を見出そう。  
今集会は、各区の推薦・協力議員と「良質な公共サービスとしての清掃事業のあり方」について、少人数によるグループ討議を行う。区民と接点を持ち、継続的に業務を担い、災害時に活動する我われが、区民と信頼関係を結ばれた清掃事業を自分自身の手で確立

## ワークショップで活発に意見交換

1日目の午後と2日目の午前には、約10人ずつのグループに分かれてワークショップに取り組みました。全員が対等である、批判をしない、自由奔放に、たくさんのアイデアを結合し発展させるという考え方で、清掃事業の発展の糸口を探り合いました。区民ニーズを探す／解決策を考える／目標を設定す

## 清掃事業は街づくりに大きく貢献できる

区議の感想では、青い服の職員は区民から信頼されている。誇りをもって仕事を進めて欲しい。区民が安心して暮らせる街にしようとの思いはひとつだ。清掃事業は街づくりに大きく貢献できる可能性を

しようと、基調を提起しました。  
完成したばかりのDVD「自然にやさしくひとにやさしく」(1面の囲み記事)を参加者で鑑賞し、練馬区の仲間がパネルシアター(幼稚園や保育園での紙芝居による環境学習)の美演(4面参照)をしてくださいました。

る／手段を考えるとというワークショップの流れに沿って進めました。  
年齢や役職、清掃事務所か清掃工場か、組合員か議員かに関わりなく、(区民の目線に立って現場力を発揮できる現業の枠を超えて区の部署にこだわらない)自由な意見を出し合いました。(2面・3面参照)

第40回組織集会  
第52回自治研集会  
会特集号

## 自然にやさしくひとにやさしく ～現場で奮闘する清掃職員～

## 23区の子供たちを応援するDVDを作りました

収集・運搬・処理・処分という一貫した流れで成立する清掃事業は、広域的な処理を必要とする事業です。  
しかし2000年の都区制度改革により、収集・運搬部門は特別区へ、中間処理は東京23区清掃一部事務組合へ、最終処分場は東京都へと分割区移管されました。  
このDVDは、良質な清掃事業を維持するために各職場で奮闘する職員の苦勞や、一般的な収集業務以外の区内全域にわたる戸別収集(品川区)や高齢者等訪問収集(新宿区)、清掃工場での搬入物検査や狭小路地対策、小学生に対する分別ゲームを通じた環境学習(練馬区)など、多



様化し続ける現在の特別区の清掃事業の特徴点をわかりやすく紹介しています。環境負荷をより少なくし、少子高齢化社会に対応した清掃事業を模索し、実行している姿を区民のみなさんに知ってほしいと思います。  
今後は、このDVDを最大限に活用し、行政当局や職場組合員との上映会・意見交換、区民を交えた各区自治研集会に取り組みしましょう。

**DVD上映会&懇談会日程**

6月25日	清掃課長会正副幹事長との意見交換会
7月8日	清掃課長会
7月13日	東京23区とことん討論会実行委員会
7月14日	足立区議会民主党
7月21日	特別区人事・厚生事務組合 特別区研修所
7月22日	特別区人事・厚生事務組合 人事企画部
7月23日	第1回自治研推進担当者会議・第2回議員懇談会
10月8日	市民集会 文京シビックセンター 小ホール

の特別区の清掃事業を紹介するDVDを、行政にも、区民にも、組合員にも広げよう前向きなものがほとんどでした。(アンケートによる感想の紹介は4面)  
第二地連では、7月11日12日に草加の埼玉屋旅館で宿泊学習会を開き、新規採用獲得の取り組みをテーマに、ブレインストーミングに早速取り組みました。(4面参照)  
今後はDVD『自然にやさしくひとにやさしく』の上映会を、清掃課長会を始めとした行政当局や区議会議員の皆さんと取り組みましょう。

# 「第40回組織・第52回自治研集会」各参加者の声

## ●佐藤ありつね (北区区議会議員)

### 地域住民とともにDVD鑑賞に取り組みたい

少人数による参加型のグループ討議・ワークショップを組合の会議に取り入れたのは新鮮な驚きでした。この手法の良さは、どのような意見も考え方も自由に出して肯定的にそれを受け入れて検討を進めることにあります。

その手法で、区民との協働、清掃事業と組合運動の役割をとらえ直す討論は楽

しくもあり、様々な発展を秘めた可能性を感じさせるものとなりました。地域住民とともにDVD鑑賞に取り組んでみたいですね。



## ●第8グループ 渡辺 一彦 (文京支部)

### 清掃事業への理解を広く求める必要性を実感

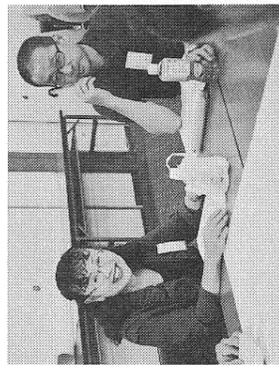
今まで自治研活動の必要性について疑問に思っていました。しかし、今組織集会で様々な討議をし、自分の考えに変化がおきました。清掃事業を継続し発展させていくには、自治研活動等々の取り組みを通じ、清掃事業への理解等を広く求める必要があります。今後、清掃事業の根本を忘れることなく、具体的取組みに努力していきたいと、強く思っています。

最後になりますが、グループ討議は有意義なものであり、特に同グループの方には感謝しています。お疲れさまでした。

## ●おとう有子 (中野区区議会議員 無所属)

### 区民の信頼を得ているブルーの作業服に誇りを持って

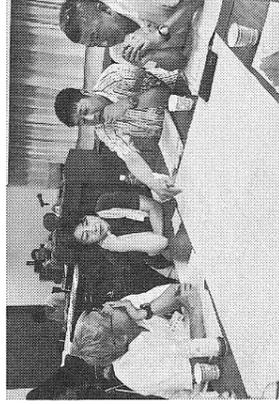
「ブレインストーミング」という手法に基づくグループ討議を初体験しました。自由奔放な発言を大切にするとわかれても、私自身はアイデアが閃かず、奇抜な意見が言えませんでした。が、清掃職員の方々の熱心な姿勢と意見に触れ、有意義な時間と元気とやる気を頂いた集会でした。区民からの安心と信頼を勝ち取っているブルーの作業服に誇りを持って、今後とも区民生活を支えてください。



## ●第3グループ 一組総支部 中里 保夫(江戸川工場支部)

### 職務内容の異なる部門間で交流し、お互いの理解を深めよう

様々な意見を自由に出し合うことで、組織全体が活性化する兆しを感じました。参加者全員が有意義な時間を共有できたと思います。しかし、反省点もあります。それは、収集・運搬・処理・処分の一貫性・統一性・一体性を重視しつつも、それぞれの職務内容が異なることで、課題や問題に対する見解の相違があったことです。今後は、組織内の情報交流を精力的に行い、職務内容を含めたお互いの理解度を深める必要があります。さらに、今回の討議方法に慣れるためにも、期間を空けずに、集まった多くの貴重な意見を活かした本部主催の自治研を継続して行く、各地連の活動に繋げていくべきと考えます。



## ●第8グループ 金子 達也 (江戸川支部)

### 脈々と続く収集作業時の住民とのコミュニケーションが突破口

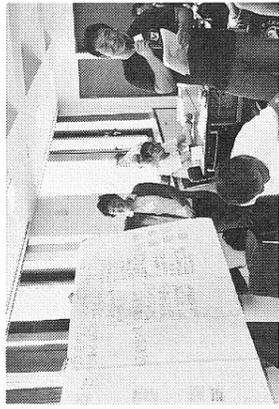
東京清掃は外部に何をアピールするか…

今回必要だと感じたのは全職場共通の何かをすること。同時に出来る何かはないか？

初心に戻ってみましょう。公務員なのに住民から評価がそこそこ良いのは、先輩方から脈々と受け継がれ

中で行われてきた「収集作業」時の住民とのコミュニケーション。突破口は「燃作業」にありかも！

とりえず作業車に、ヘルメットに我々をアピールするステッカーでも貼ってみませんか？



## ●第2グループ 張替 一茂 (千代田支部)

### 23区全体を横断的に住民対応できる組織を作ると意欲的な意見

今回の組織集会は、ほとんどの参加者が少人数の参加型グループ討議(ブレインストーミング)を初めて聞いたという状況であり、「どう進んでいくのか」「意見は沢山出るのか」など不安で一杯の参加でした。まずは、基調提起・DVD上映・環境学習の実演を受け、ステップごとに「区民ニーズを探る」という観点から、区民のニーズを

## ●第7グループ 石川 智章 (板橋西支部)

### 既成概念の殻を破る力の無さに苦戦 可能性あるグループ討議

「奇抜な考え、自由奔放な意見を尊重する」ということかなり期待して臨んだブレインストーミングでしたが、思いのほか自分自身のアタマの固さ、既成概念の殻を破る力の無さに苦戦しました。

いいアイデアがあってもステップが進むにつれ消えていき、より現実的な意見に落ち着いてしまう。初めての試みで時間の制約もあり仕方ない部分もあります

「あー！」と驚くアイデアに出会いたかったです。ただこのグループ討議は非常に可能性があるので、できるだけ多くの支部、組合員に触れてもらい、新しいアイデアを生み出す機会を作るべきだと感じました。



## ●第5グループ 墨河内 昭 (台東支部)

### 区民が気軽に声をかけてくる清掃職員は行政の窓口だ

ブレインストーミングのStep1:住民ニーズの洗い出しでは、様々な意見がありました。

清掃というよりは区職員・行政への問い合わせとして、施設の場所や道案内、見通しの悪い交差点へのミラー設置の働きかけを示唆されたことがありました。清掃職員は不明な点や要望等を住民から気軽に受けやすいという事実があります。

課題としては、炉が設計に利用する、温水を作つてプール等で使用する、等のエネルギー生成プラントとしての役割を強調する内容が多かったように思います。

住民にとって最も身近な区職員・行政の窓口としての、清掃職員の位置付けが表れた意見だと思います。個人的に面白いと思った内容は、清掃工場に関する意見です。可燃ごみを焼却する際の熱を利用できないか…というもので、発電した電気を売る・工場の稼働



## ●第6グループ 第二地連事務局長 原田 輝高(台東支部)

### 町会や子どもたちといっしょに 町の清掃活動に参加しよう

はじめに、参加者が区民から言われた意見や要望を踏まえて、「区民の清掃活動」を企画しようという話し合いが行われ、その3点の中から、「区民との清掃活動。町会や子どもたちといっしょに町の清掃活動に参加しよう」という意見が選ばれました。

### 第11グループ

清掃アクションプランシートの作成 その3【手段を考えよう】

#### 目標：安心して暮らせる福祉の充実した街をつくる

【記入の観点】直接区民に接する立場として、何をすれば良いでしょうか？

職場では ⇨

自分の足で、確かめる  
 〈高齢者など〉  
 高齢者・障がい者・要介護者の  
 基本情報をいれたマップを作る  
 〈災害対策〉  
 狭い道、がけの下、危険な箇所  
 の地域情報を入れたマップを作  
 る

そのためには ⇨

自分の足で地域を回る マップ  
 にする  
 タブレットに情報を入れる  
 区民の生の声を聞く  
 行政上のことや住んでいる上で  
 の不便さを聞き出す

【記入の観点】職場サポートまたは組合主導の観点から、何をすれば良いでしょうか？

支部では ⇨

〈高齢者など〉  
 民生委員やケースワーカーなど  
 と連携を取る 窓口  
 意識付けをする 研修を頻繁に  
 行わせる

そのためには ⇨

区民の「異変」に気づける位、  
 ケアマネージャーになれる位、  
 福祉などの知識を身につける

支部では ⇨

〈災害対策〉  
 「都市型災害」の正確な認識を  
 育て、マニュアルを作る  
 まず、がれきの山から人間を救  
 い出す それから救急救命だ  
 自宅にいるとき、事務所にいる  
 とき、現場にいるときの対応は  
 どうするか

そのためには ⇨

防災・危機管理の部署に自分た  
 ちの経験・意見・決意を伝える  
 いつでも緊急出勤できる職員に  
 なるように全員に働きかける  
 要するに「意識改革」を進める  
 区に、老朽化した事務所を建て  
 直しさせる  
 清掃事務所を防災拠点にさせる  
 緊急時に必要な人材と車を確保  
 させる  
 緊急車両や清掃車が通行できる  
 街に作り変える

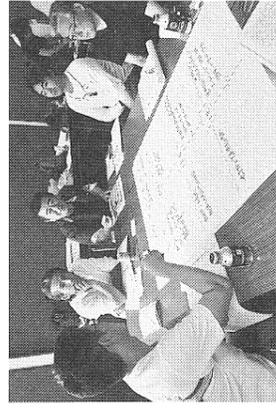
【記入の観点】組合主導の観点から、サポートしてほしいことを考えよう。

本部では ⇨

23区間で情報や進行状況の共有  
 を進める  
 技能長だけでなく、技能主任  
 等の23区間の研修派遣を行わせ  
 る 良いところを学んで持ち帰  
 るために  
 すべての区長・行政・区議会を  
 動かす

そのためには ⇨

23区間で情報や進行状況の共有  
 を進める  
 技能長だけでなく、技能主任  
 等の23区間の研修派遣を行わせ  
 る 良いところを学んで持ち帰  
 るために  
 すべての区長・行政・区議会を  
 動かす



交換を頼まれた「草刈を頼  
 まれた」といった発言があ  
 りました。この清掃業務以  
 外の業務に着目しました。  
 ステップ2・3で、過去  
 の実例を挙げどのように解  
 決したかを参考に、今後想  
 定される区民ニーズを話し  
 合いました。住民票等の公  
 的書類の配送、地域の警備  
 等が議題となり、これらを  
 話し清掃業務の質を維持す

そのためには、現場から  
 支部に報告し、全組合員の  
 意思統一を図る。業務が増  
 えることにより新規採用職  
 員を確保できる可能性があ  
 る。区議との連携をより深  
 め清掃業務の必要性を理解  
 してもらおう。本部の役割は  
 支部からの意見を参考に自  
 治研活動の立案と実践。全  
 国集会等での東京清掃の取  
 り組みの発信・情報提供。  
 区長会等で申し入れを行  
 った。  
 個人的な感想ですが、第  
 10グループは高抜な発想は  
 挙がりませんでした。現場  
 に即した意見がほとんどの  
 印象です。しかし議員・工  
 場職員は収集現場の専門用  
 語「シングル・ダブル・小  
 父」等わからないため、解  
 説してもらいました。その  
 ほかに、集積所の環境維持  
 のため小学生が描いた絵の  
 パネル設置が効果あった。  
 是非うちの職場でも取り入  
 れたい。その費用は？近日  
 中に見学に行ってもよい  
 か？等の質問もありまし  
 た。区議から「作業着を着  
 た職員は区民からの信頼を  
 得ている。是非その信頼を  
 活用した業務を確保してほ  
 しい」との意見もありまし  
 た。

### 第9グループ

清掃アクションプランシートの作成 その3【手段を考えよう】

#### ① 目標：子供たちの登下校時や公園等で見守り

【記入の観点】直接区民に接する立場として、何をすれば良いでしょうか？

職場では ⇨

・統制り行政の枠を超える  
 ・防犯のPRをする  
 ・見守りのための資格を取得す  
 る  
 ・子供たちの時間に合わせて見  
 守る  
 ・危険と思われる道路の見守り  
 ・登校時間（7：30～8：00）  
 に合わせる

そのためには ⇨

・関係部署、PTA、町会等と  
 調整する  
 ・清掃車にステッカーを貼る  
 ・作業着に「パトロール中」の  
 表示をする  
 ・カッピングカーを交通安全指  
 導に使用する  
 ・救命救急士や認知症サポー  
 ター等の講習に参加し、資格  
 を取得する。  
 ・環境学習の前後の時間を使  
 い、通学路の見守りをする  
 ・交通量や危険な道路をピック  
 アップする  
 ・早出勤が必要か検討する

【記入の観点】職場サポートまたは組合主導の観点から、何をすれば良いでしょうか？

支部では ⇨

・組合員に新たな仕事の理解を  
 求める  
 ・出勤時間の変更があるのでは  
 ・地域に取り組みの理解を求め  
 る  
 ・職域の拡大にかかわるので組  
 合（区職）間の調整が必要

そのためには ⇨

・組合員との懇談会、説得活動  
 をする  
 ・予算人員要求闘争を取り組む  
 ・組合員の負担軽減、精神的サ  
 ポート体制の確立  
 ・勤務時間変更の交渉を行う  
 ・ピラ配布や議員との意見交換  
 を行う  
 ・区職、現評と意見交換等を行  
 う

【記入の観点】組合主導の観点から、サポートしてほしいことを考えよう。

本部では ⇨

・職域の拡大にかかわるので組  
 合（区職）間の調整が必要  
 ・支部以上に広いPR活動  
 ・23区統一要求にする

そのためには ⇨

・特区連、自治労傘下以外の組  
 合と意見交換等を実施する  
 ・本部のHP、都政新報等を活  
 用し意見広告等を掲載する

【記入の観点】組合主導の観点から、サポートしてほしいことを考えよう。

本部では ⇨

・職域の拡大にかかわるので組  
 合（区職）間の調整が必要  
 ・支部以上に広いPR活動  
 ・23区統一要求にする

そのためには ⇨

・特区連、自治労傘下以外の組  
 合と意見交換等を実施する  
 ・本部のHP、都政新報等を活  
 用し意見広告等を掲載する

#### 本部では ⇨

#### そのためには ⇨

本部では ⇨

・職域の拡大にかかわるので組  
 合（区職）間の調整が必要  
 ・支部以上に広いPR活動  
 ・23区統一要求にする

そのためには ⇨

・特区連、自治労傘下以外の組  
 合と意見交換等を実施する  
 ・本部のHP、都政新報等を活  
 用し意見広告等を掲載する

に書き出していき議論  
 し、それらを具体的にどう  
 いう状態にしていくか課題  
 を整理しながら進めていき  
 ました。「23区全体を横断  
 的に住民対応できる組織を  
 作る」「防犯チームを作る」  
 など斬新的・意欲的な意見  
 が飛び交い、最終的に「現  
 場力を活かした行政と区民  
 との共同行動」とするテー  
 マになりました。  
 今後、今回出された議論  
 の精査やこうした取り組み  
 をどう反映させていくかな  
 どの課題はありますが、将  
 来の清掃事業を考える契機  
 となり、今回の飛躍へと繋  
 げていけると感じました。



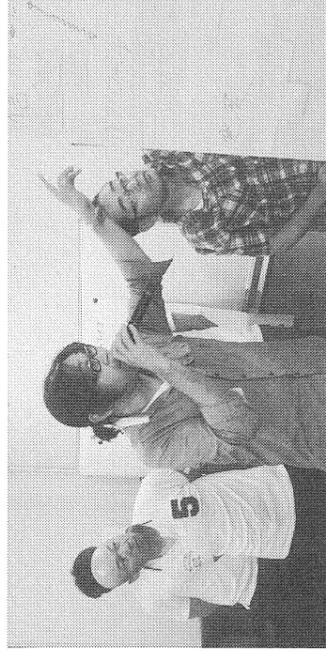
活動」「粗大の基準」等3  
 点にまとまりました。  
 参加者から「私たち組合  
 が、何らかの企画・立案を  
 して行動する。」「単発では  
 なく、定期的に自治会や町  
 会役員会等に参加し、一緒  
 に清掃について意見交換を  
 する。」「清掃事業をより身  
 近なものにする為、清掃ア  
 イドルをつくる」等、斬新

度となく参加をしています  
 が、今回はじめてのブレイ  
 ンストーミングで意見等が  
 出るか不安でした。生まれ  
 ば参加者一人ひとりがそれ  
 ぞれ様々な意見や考えをも  
 っている事が分かり、非常  
 に有意義な集会でした。自  
 分自身も勉強になりました。

●第10グループ 西村 好勝（多摩川工場支部）

清掃業務以外の業務に着目し、  
 新たな職の確立を目指す支部と本部がひとつになって

### 第二地連一泊学習会 草加「埼玉屋旅館」(7/11・12)



33人が参加した合宿の1日目には、野崎教育宣伝部長から、板橋区の「新規採用に向けた取

### 清掃工場見学と各区の環境学習をコラボしよう ごみの運び出しが困難な人に訪問収集を広めよう

33人が参加した合宿の1日目には、野崎教育宣伝部長から、板橋区の「新規採用に向けた取組み」について問題提起を受けました。

2日目は、台東、文京、北、荒川の各区の予算人員闘争総括を報告しあい、その後「新規採用に向けた取り組み」で、4グループに分かれてブレインストームングを行いました。発表された成果は、

① 大学生や外国人の多い清掃工場施設見学案内に合わせ、各区の環境学習とコラボしよう。

② 区長や議員の方々と関係を強め、体験収集をしてもらおう。

③ 分別を徹底する戸別収集を拡大しよう。

④ 区民・当局・議員に広く事業を理解してもらい、信頼を得よう。

どれも、実行でき、検討に値するものです。仕事のあり方を見直し、お互いの考えを尊重しながら討論し、積極的に事業を拡充する道を探ることで、新規採用獲得に道を開くことが出来ると確信できる合宿でした。他の地連・支部も後に続きましょ



練馬支部の仲間による、パネルシアターの実演も行いました。

### トオル君とゴリオ君は リサイクルの森を脱出できるでしょうか

パネルシアターというのは、練馬区内の幼稚園や保育園で実演する紙芝居形式の環境学習です。

リサイクルの森に迷い込んだ主人公トオル君とゴリオ君が、分別の仕方をテーマで答えながら森を脱出するというお話です。正しい分別の仕方を答えられないと森から抜け出すことができません。

保育士の皆さんが、歌や踊りで子どもたちと遊ぶや、り方を、練馬支部の仲間が取り入れ創作したものです。自ら教材を作り、シナリオを書き、実演するのです。

幼稚園児の前ではなく、大人を前にして演じることにとても緊張していました。しかし堂々としたその演技は、参加者の拍手喝采を浴びていました。

きっと日ごろは、多くの子どもたちに喜んでもらっていることでしょう。

### 第40回組織／第52回自治研集会参加者アンケートを紹介【一部を抜粋しました】

(☆印は議員の感想です ★印は組合員の感想です)

【設問1】今後の清掃事業のあり方について、自由な意見を交わすことを目的に開いた集会の趣旨(基調)について、感想をお聞かせください。

- ☆現場の生の声を聞くことができ、大変勉強になりました。
- ☆大変有意義な集会でした。自由に議論が出来て良かったです。
- ★結果、というより色々な職場の方との交流・意見交換が出来ること。組合員がこのように参加出来る場所が沢山あれば良いのでは。
- ★前向きな考えがなければ衰退するしか道がない。積極的にやっていた方がいい。繰り返し熟成させていきたい。
- ★自由な意見交換できる場は大変貴重だ。職場実態の確認も大事だが、考え合い、新たな取り組みを立案していく事の重要性を学んだ。
- ★今後の清掃事業のあり方を見直す意味でも大変意義のある集会だ。様々なことを考え直す良い機会になった。「良質な公共サービスとしての清掃事業のあり方」とは何か、今一度職場で議論してみたい。
- ★「行政のチェック機能を持つ社会的な労働運動を目指す組織」このことをしっかりと認識しない中で自由な意見を交わすことは集会の意味合いを薄れさせるだけだ。
- ★活発に自由な意見を出しあえた。議員と直接やりとりできる企画は良かった。環境学習の実演にとっても感心・感動した。

【設問2】多様化をしている現在の清掃事業をまとめたDVDに対する感想をお聞かせください。

- ☆今後、会派を中心にDVD映写会を開きます。
- ☆良いと思います。一人でも多くの区民に知ってもらうために、皆様に見せていきたいと思えます。このDVDをきっかけとして、より多くの区民の方々に環境について関心を持ってもらうように促していきたいと思えます。
- ☆当区でも、環境学習をやりたい。
- ★とても見やすく、支部の組合員にも見せたい。
- ★各区・各支部でまわし見をしたい。or地連学習会等でも良い！！
- ★当局の皆さんに見てもらいたい。
- ★私たちが日々努力していることを上手く表現できたDVDだ。
- ★収集・運搬・処理・処分が相互に協力し、23区の清掃事業を一体のものとして進めていく重要性を再認識する内容になっている。
- ★DVDの中で、他区が現実に行っている事が映されていて、自分の職場のふれあいのあり方、訪問収集等、改善の余地が多い。各区でも独自のDVDが必要ではないか。
- ★戸山団地の老人の多さにビックリした。我々がセーフティネットとなり、生活を守らなければ。
- ★区長や部課長といっしょに見る会を23区で実現しよう。
- ★とても良い。もっと各区の状況がわかるものにも見飽きないと思う。ぜひ、各支部、各区、各団体に配り、見てもらうと良い。
- ★収集現場の大変さと行政としてのあり方が全面的に現され、とても良かった。

【設問3】少人数によるグループ討議について、感想をお聞かせください。

- ☆全員参加で意見が出るのはなかなかいい方法ですね。ワークショップ手法を取り入れていくのは意外でしたが、建設的、前向きに討議できていいです。
- ☆本当に自由で、仲間意識も生まれ、良かった。
- ★とても面白い試みだ。難しかったが新しい発見もあり次回以降もこの方式での分散会を期待する。
- ★のっけり、のっけり、いろいろな意見が出てよい経験が出来た。
- ★ブレインストームングは発想を大切にし、他人の意見を打ち消さないのの有意義なグループ討議になった。
- ★すごく有意義だった。意見を言わない人がいるかと思っただが、自由に出してよいというプレストスタイルが功を奏した。時間が足りなかった。
- ★次々と意見が出され、清掃の直営だからそでできるメリットが議論の中で明確になった。自分も元気をもらえた。区議と直接討論できて、議員を応援することは自分達の事業を理解し、守り、議員にも議会を闘っていただくのだとよくなった。議員からも意見が出され、現場と議員で執行課を動かすのだと明確になった。
- ★プレストのざい職場でやってみよう(職場の組合員の方がより柔軟な意見や考えを持っていくから)
- ★やはり、物事をポジティブに考えていくことで、内容が広がった。普段なかなか出ない方向に向かっていったことも楽しかった。この討議は支部段階でも必要である。

【設問4】その他の感想や意見があれば、お聞かせください。

- ☆議員+αに市民活動のメンバーと一緒に議論できるともっと良いのでは。人数は少なくしても。今回の各グループでの討議内容はとても重要。あとから資料として、ぜひ欲しいです。議会質問のヒントにも使えます。
- ☆ゴミ収集だけではなく、全ての分野で皆さんに活動してもらいたい。街づくりで重要なところだと思います。災害に強い、福祉の街づくりにはかせないところだと思います。
- ★全体的に若い人が多くなった。職場にも新規採用が入っている。これから清掃事業を担う人の意見(組合的には変な発想だなと思う時が多いが)を排除しないで、組合活動に参加してもらおう体制を作りたい。
- ★今後の清掃事業のあり方を皆で意見を出し合い、話し合う事は、これからの人たちにとって必要不可欠だ。次回も是非参加をしたい。
- ★議員を入れての集会は良かった。これからは清掃を理解してもらうため、続けてほしい。全グループの資料をほしい。
- ★実演等が盛り込んである集会は、やはり楽しいし、交流が深められる。この様な機会をもっと増やし、東京清掃の団結力を結束させていきたいと感じた。ありがとうございます。